

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	19-1																																		
PDCA	主要事業名	健康づくり推進事業	部課名	福祉部 健康課	担当	榊原																																		
					内線	377																																		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策：健康づくり 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 2,166 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.04.01 3か年実施計画（当該年度事業費等）： ー 千円																																							
	事業概要等	事業概要： 健康増進法・自殺対策基本法 第2次健康はんだ21計画・半田市自殺対策計画 健康寿命の延伸および自殺者の減少のため、年齢を問わず、市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進する。																																						
		事業目的： 市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進することで、健康寿命の延伸および自殺者の減少を目的とする。																																						
		事業内容： 健康づくり推進事業および自殺対策事業の実施。																																						
		問題点・生涯にわたり生活習慣病を予防するため、若い年齢層からの働きかけが重要課題等： であり、社会全体の問題として自殺対策に取り組む必要がある。																																						
	予算額	主要事業とする理由																																						
	2,166 千円	市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを総合的に推進するため。																																						
	財源内訳	得られる成果																																						
	市費	健康づくり推進事業の実施により、市民の健康度が上がることで健康寿命の延伸や医療費の削減につながります。また、こころの健康も推進され、自殺者の減少にもつながります。																																						
	1,109 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はんだ健康マイレージ</td> <td>実績値 906</td> <td>556</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>カード交付延人数</td> <td>目標値 1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,000</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>メタボリックシンド</td> <td>実績値 24.5</td> <td>26.1</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ローム該当率</td> <td>目標値 24.0</td> <td>23.0</td> <td>20.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合</td> <td>実績値 89.9</td> <td>89.9</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	はんだ健康マイレージ	実績値 906	556	—	人	カード交付延人数	目標値 1,200	1,200	1,000	人	メタボリックシンド	実績値 24.5	26.1	—	%	ローム該当率	目標値 24.0	23.0	20.0	%	ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合	実績値 89.9	89.9	—	%		目標値 80.0	80.0	80.0
目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																				
はんだ健康マイレージ	実績値 906	556	—	人																																				
カード交付延人数	目標値 1,200	1,200	1,000	人																																				
メタボリックシンド	実績値 24.5	26.1	—	%																																				
ローム該当率	目標値 24.0	23.0	20.0	%																																				
ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合	実績値 89.9	89.9	—	%																																				
	目標値 80.0	80.0	80.0	%																																				
0 千円																																								
国費																																								
18 千円																																								
その他																																								
18 千円																																								
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																						
	1,624 千円	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、市民にとって必要な健康情報の発信を行い、市民の健康保持、増進に間接的につながることができた。																																						
		成果指標			令和3年度	単位																																		
		はんだ健康マイレージカード交付延人数	実績値	606	枚																																			
			目標値	1,000	枚																																			
		メタボリックシンドローム該当率	実績値	—	%																																			
			目標値	20.0	%																																			
		ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合	実績値	95.5	%																																			
			目標値	80.0	%																																			
	C 課題の整理	事業の評価・課題	C ・「はんだ健康マイレージ」の対象事業は、新型コロナウイルス感染対策のため人数制限や時間短縮を行いながら実施したため、カードの交付延べ人数は目標値に達しなかった。 ・こころの健康づくりとして民生児童委員等に対しゲートキーパー養成講座を行い、地域住民の見守り体制の充実を図ることができた。																																					
A 今後の課題の方向性	今後の事業の方向性	改善推進 新型コロナウイルス感染対策をしながら、引き続き市民にとって必要な健康情報の発信及び健康づくり事業を実施し、健康格差の縮小及び健康寿命の延伸につなげる。特に、こころの健康と自殺の問題は関連が深いことから、市民のセルフケアの推進に加えて、個別相談や自殺対策を支える人材の育成を積極的に実施する。																																						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない																																	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																				

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）